

## 2-1 「原稿用紙」画面と「方眼紙」画面

### 「原稿用紙」画面（テキスト画面）

```
puts "A" # => 「原稿用紙」画面に「A」と表示される
```

- ・文字1文字分の大きさのマス目で集まってできている。
- ・文字を表示させるのは簡単(上から順に詰めて表示)だが、画像や図形を描くことはできない。
- ・用途は、文字や数字だけの情報で表現することができるプログラム。

### 「方眼紙」画面（グラフィック画面）

```
require 'dxruby'
Window.loop do
  Window.draw_circle(320, 240, 100, C_BLUE) # => 「方眼紙」画面に青い円が描画される
end
```

- ・小さなドット(ピクセル)がたくさん集まってできている。
- ・「方眼紙」画面を使うときには、「require 'dxruby'」というコマンドが必要。
- ・画像や図形や文字も描くことができるが、「方眼紙」画面用のコマンドを使わなければならない。  
(Window.loop do～end, Window.draw\_circle など)
- ・用途は、ゲームやコンピュータグラフィックスなど。

